



Yokohama Arts Foundation

令和4年3月11日
(公財)横浜市芸術文化振興財団
大佛次郎記念館

「リーダーはなぜ罷免されたのか〜”浜っ子中将”田尻昌次の足跡」 大佛次郎賞受賞記念講演会

大佛次郎賞は、小説、戯曲、評論、ノンフィクション、歴史記述、ルポルタージュなど、形式のいかんを問わず、優れた散文作品に贈られる賞です。第48回大佛次郎賞は、選考委員全員一致でこの作品に決まりました。

『暁の宇品－陸軍船舶司令官たちのヒロシマ』(講談社)

すべての著作が面白く希代の書き手と評されるノンフィクション作家堀川恵子氏。広島に生まれ育った氏にとって、ヒロシマ／原爆は、氏のライフワークであり、この作品は、まさにそれらの集大成といえます。

昭和12年～15年の間、宇品の陸軍船舶司令部で司令官を務めた田尻昌次は、この作品を貫く主人公と言える人物。作品には、ご遺族の協力により未公開だった田尻の自叙伝を軸に、田尻の生き様が見事に描かれています。

今回の講演で語られるであろう、戦時下の陸軍にあって苦悩しつつ自らの信念を貫いた田尻の姿には、誰しも心ゆすぶられるに違いありません。



©MAL

【堀川恵子氏より】

陸軍中将の田尻昌次は、横浜育ちの元神中生。自由な気風に生まれ、一風変わった軍人になった。

陸軍最大の輸送基地・広島宇品の、兵士や物資の輸送を担う船舶司令部を率い、「船舶の神」と呼ばれた。田尻は世界の最先端をいく緻密な海洋輸送体制を築きながらも、太平洋戦争開戦直前に陸軍を罷免される。その後、日本軍の兵站は壊滅、多くの兵隊を餓死させ敗戦を迎えた。組織のリーダーはなぜ罷免されたのか、運命の昭和15年に焦点を当てて考察する。

堀川 恵子 プロフィール

1969年広島県生まれ 報道記者、テレビディレクターを経てノンフィクション作家。『死刑の基準』で講談社ノンフィクション賞、『原爆供養塔』で大宅壮一ノンフィクション賞、『狼の義〜新犬養木堂伝』で司馬遼太郎賞など。

- | | |
|------------|---|
| 【1】 開催日時 | 2022年6月4日(土) 14:00開演(13:30開場・15:40終了予定) |
| 【2】 会場 | 横浜市南公会堂(横浜市南区浦舟町2丁目33番地) |
| 【3】 チケット料金 | 800円(全席自由)
※ チケット提示で、大佛次郎記念館でテーマ展示「文士は必ずカメラを持って」(～4/17)「実朝と桜子」(4/23～8/21)を1回ご観覧いただけます。 |
| 【4】 チケット販売 | チケットぴあ(Pコード:647769) 3/17(木)10:00～6/3(金)23:59
大佛次郎記念館窓口 3/17(木)10:00～6/3(金)16:00
吉野町市民プラザ窓口 3/17(木)10:00～6/3(金)21:00 |
| 【5】 当日券 | 残席があった場合のみ、講演会場にて12:30より販売 |
| 【6】 主催 | 大佛次郎記念館 / 朝日新聞社 |
| 【7】 後援・協力 | 横浜市南区(後援)、横浜市吉野町市民プラザ(協力) |

※当講演会の情報掲載をよろしくお願ひします。取材の際は事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

大佛次郎記念館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

館長:福富潤子 広報担当・本講演会担当:大房奈央子 TEL:045-622-5002 Mail:osaragi@yaf.or.jp

大佛次郎賞受賞記念講演会



©MAL

ほりかわ けいこ
ノンフィクション作家 **堀川 恵子**

第48回大佛次郎賞受賞作
『暁の宇品 — 陸軍船舶司令官たちのヒロシマ』
(講談社)

1969年広島県生まれ
報道記者、テレビディレクターを経てノンフィクション作家。『死刑の基準』で講談社ノンフィクション賞、『原爆供養塔』で大宅壮一ノンフィクション賞、『狼の義〜新犬養木堂伝』で司馬遼太郎賞など。

2022年6月4日(土) 14:00 開演 (13:30 開場)

【演題】「リーダーはなぜ罷免されたのか〜“浜っ子中将”田尻昌次の足跡」

陸軍中将の田尻昌次は、横浜育ちの元神中生。自由な気風に生まれ、一風変わった軍人になった。陸軍最大の輸送基地・広島の宇品で、兵士や物資の輸送を担う船舶司令部を率い、「船舶の神」と呼ばれた。田尻は世界の最先端をいく緻密な海洋輸送体制を築きながらも、太平洋戦争開戦直前に陸軍を罷免される。その後、日本軍の兵站は壊滅、多くの兵隊を餓死させ敗戦を迎えた。組織のリーダーはなぜ罷免されたのか、運命の昭和15年に焦点を当てて考察する。

【会場】 **横浜市南公会堂** 〒232-0024 横浜市内南区浦舟町2丁目33番地
南区総合庁舎内 3階

【入場料】 **800** 円(全席自由)

チケットご提示で、大佛次郎記念館で開催中のテーマ展示「写し、写された大佛次郎 文士は必ずカメラを持って」(～4/17)「実朝と桜子～大佛次郎の紡いだ武士と雅～」(4/23～8/21)のいずれかを、1回観覧できます。
未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット 3月17日 発売開始

- チケットぴあ: 6/3 まで販売
URL: <http://ticket.pia.jp/>
 - 大佛次郎記念館窓口 (10:00-16:30)
6/3 の 16 時まで販売
 - 吉野町市民プラザ窓口 (9:00-21:00)
6/3 まで販売
 - 当日券の会場 (南公会堂) 販売
残席のある場合のみ 12 時 30 分より販売します。
- *上記にかかわらず予定枚数に達した場合には、その時点で販売を終了します。



▲こちらのQRコードより
チケットぴあの講演会
ページが表示されます。

- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用の上、検温、消毒にご協力をお願いします。
- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、予定を変更する場合がございます。
ご来場の前に、ホームページ等で最新の情報をご確認ください。



【会場への交通案内】

横浜市営地下鉄「阪東橋」駅 徒歩 約8分
京浜急行「黄金町」駅 徒歩 約14分
バス停「南区総合庁舎前」徒歩すぐ
バス停「浦舟町」徒歩 約2分
バス停「阪東橋」徒歩 約8分

大佛次郎記念館 (おさらぎじろうきねんかん)

港の見える丘公園内 (みなとみらい線 元町・中華街駅徒歩8分)

〒231-0862 横浜市中区山手町 113

TEL 045 (622) 5002 FAX 045 (622) 5071 <http://osaragi.yafjp.org>

休館 毎週月曜 (月曜祝日の場合は翌平日)、展示替期間 4/18-4/22

主催: 朝日新聞社 大佛次郎記念館 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団) 後援: 横浜市内南区役所 協力: 吉野町市民プラザ